



「江戸切り子」をモチーフとしたファサード全体が発光し、揺らめくファサードの演出

東急プラザ銀座

TOKYU PLAZA GINZA

RGBWによるLED光がゆらめく ガラスのファサード

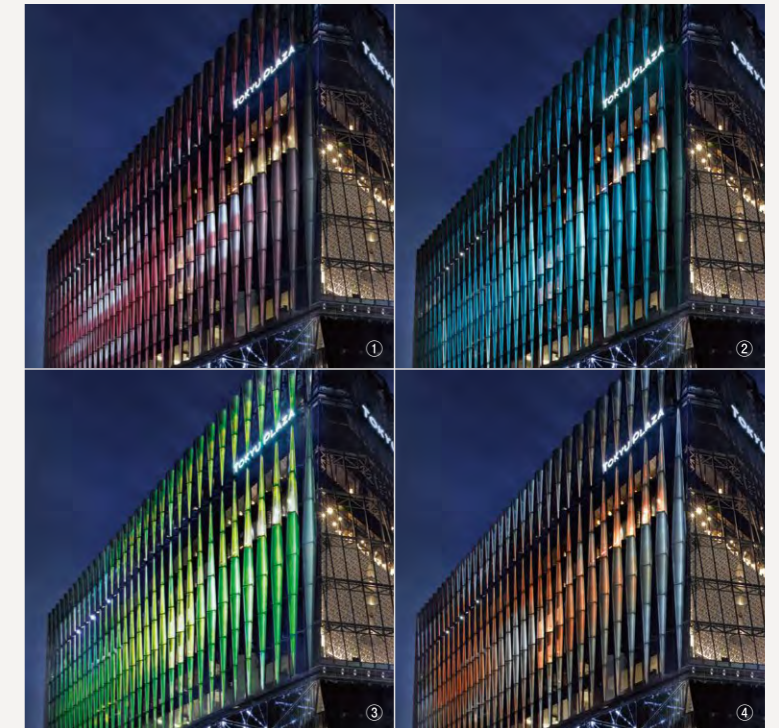
銀座の街に溶け込む透明感と、豊かな表現の立体的なガラス建築をめざして、「光の器」というコンセプトのもとに設計された商業施設。ファサード照明における照射方法や最適な光量を解明するために、モックアップによる実験や検証が繰り返された結果、方立にLED光源や反射板を組み込み、ガラス面を撫でるように照射する方法が選択された。光源を担当したパナソニックは光の出口となる反射板の曲率や設置角度、拡散用アクリル板の設置など、照射システムやディテールを実証しながら検討を進めた。

淡い色を表現するために、ガラスを照射する光源には通常のRGBにW(白色)を加えた4色のLEDを採用。RGBWの光をつくる手法は国内にはなかったため、RGBそれぞれの輝度から白色を抽出して一定の配合を作成するプログラムを作成。白をブレンドした最適な色を確認するために、リアルタイムで連続して光の配合を変える手法を新たに開発した。ファサードの41×22のマスに合わせて約2,000台の照明器具を組み込み、季節(二十四節気)に天候を組み合わせた96パターンのシーンをDMX制御。光がゆっくり呼吸して動くような光のグラデーションが銀座の夜を彩っている。

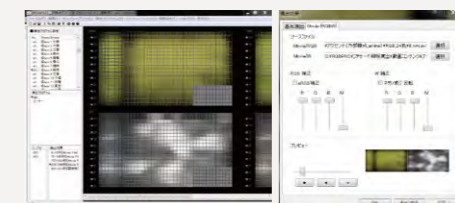
東急プラザ銀座

所在地 / 東京都中央区銀座
 施主 / 東急不動産株式会社
 設計・外装デザイン / 株式会社日建設計
 外装照明デザイン / LIGHTDESIGN INC.
 建築工事 / 清水建設株式会社
 電気工事 / 株式会社きんでん
 竣工 / 2016年3月

■ 96パターンのシーン演出の一例:季節(二十四節気)×天候

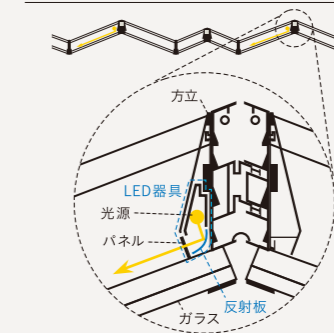


①春分×風 ②夏至×雨 ③秋分×晴れ ④冬至×曇り



光が変化するイメージをリアルタイムで調整するプログラム。RGB(赤・緑・青)のカラー映像とW(白)のモノクロの映像を重ねて変換する

ファサード断面図



LED器具を方立に内蔵。器具はバラボラ反射板を備え、ガラス面を効果的に照射しながら建物内部からのまぶしさを抑えた光学設計を行った

主な設備

- 特注LED照明器具
- 照明制御システム